

千葉セクションにおける下部—中部更新統境界と白尾火山灰層の分布状況 Lower - Middle Pleistocene Boundary at Chiba Section and distribution situation of Byakubi Ash, central Japan

木村 英人^{1*}; 風岡 修²; 楡井 久³

KIMURA, Hideto^{1*}; KAZAOKA, Osamu²; NIREI, Hisashi³

¹ 東邦地水株式会社関東支社, ² 千葉県環境研究センター地質環境研究室, ³ 国際地質科学連合環境管理研究委員会

¹Toho Chisui Co., Ltd. Kanto office, ²Research Institute of Environmental Geology, Chiba, ³International Union of Geological Science for Environmental Management(IUGS-GEM)

白尾火山灰層は市原市南部に分布し、上総層群国本層中上部層の基底付近に位置する。国本層は層相から4区分でき、上位より上部層(砂勝ち砂泥互層)、中上部層(塊状泥層)、中下部層(砂勝ち砂泥互層)、下部層(塊状泥層)となっている(三梨他, 1959; 徳橋・遠藤, 1983; 木村他, 2012)。ブリュンヌ正磁極期と松山逆磁極期の境界付近に下部—中部更新統境界が設定され、本境界が白尾火山灰層の下底付近に引かれる(会田ほか, 2010)。本調査範囲内において、白尾火山灰層の分布が養老川(田淵)から田淵川(田淵)、西川(月出)、古敷谷川(古敷谷)まで確認された(木村他, 2012)。

今後の追跡調査は、丹念な踏査が必要となってくるが、白尾火山灰層の上位に挟在するKu2(Ku2B'・Ku2B)の分布状況がかなり確認されているため(三梨他, 1961; 石和田他, 1971; 三梨・菊池, 1971; 三梨編, 1979; 徳橋・遠藤, 1983; 中嶋・渡辺, 2005)、追跡の重要な手がかりになると考えられる。

会田信行・井上進・宇澤政晃・香川淳・風岡修・木村和也・木村英人・楠田隆・葛岡等・小玉喜三郎・酒井豊・佐久間豊・高島英世・塚定良治・楡井久・楡山知代・古野邦雄・堀内正貫・丸井敬司・安田敬一・吉田剛・吉野秀夫, 2011, 中・下部更新統境界模式セクション候補地(千葉県市原市田淵)の認定に向けた取り組みとジオパーク, 第20回環境地質学シンポジウム論文集, 31-34.

木村英人・風岡修・楡井久, 2012, 下部—中部更新統境界模式候補地と白尾火山灰層の分布状況, 第21回環境地質学シンポジウム論文集, 201-206.

石和田靖章・三梨昂・品田芳二郎・牧野登喜男編, 1971, 日本油田・ガス田図10「茂原」, 地質調査所.

三梨昂・安国昇・品田芳二郎, 1959, 千葉県養老川・小櫃川の上総層群の層序—養老川・小櫃川流域地質調査報告一, 地質調査所月報, 10, 83-98.

三梨昂・矢崎清貴・影山邦夫・島田忠夫・小野暎・安国昇・牧野登喜男・品田芳二郎・藤原清丸・鎌田清吉, 1961, 5万分の1日本油田・ガス田図10「富津—大多喜」, 地質調査所.

徳橋秀一・遠藤秀典, 1983, 姉崎地域の地質, 地域地質研究報告, 5万分の1図幅, 地質調査所.

キーワード: 白尾火山灰, 国本層中上部層, 養老川, 千葉セクション

Keywords: Byakubi Ash, Kokumoto Formation middle-upper member, Yoro River, Chiba Section